

令和7年度中学生チャレンジテスト

第3学年 国語

注意

- 1 テスト問題は、1ページから32ページまであります。先生の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2 解答はすべて解答用紙⑥（国語）に記入してください。
- 3 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はつきりと書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 5 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。
また、解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 6 解答用紙は、オモテ、ウラがあります。
- 7 解答用紙の「生徒記入欄」に、組、出席番号を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 8 テスト実施時間は、45分です。



問題は、次のページから始まります。

二

次の1～5の問いに答えなさい。

1 次の言葉は行書で書かれています。

ア～エから一つ選びなさい。

□

で囲まれた漢字を楷書^{かいしよ}で書いたときの総画数として正しいものを、あとの

祝

福

エ	ウ	イ	ア
14 画	13 画	12 画	11 画

2 次の①～③の文中の――線部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きなさい。

① 雪が山頂を覆う。

② 伝統芸能を継承する。

③ 動作が機敏だ。

3 次の①～③の文中の――線部のカタカナを文の内容に合うように漢字に直し、楷書でいねいに書きなさい。

① マヨわず実行する。

② 大きく深コキユウをする。

③ テイリユウ所でバスを待つ。

4

次の文中の――線部と文法上同じ意味・用法のものを、あとのア～エから一つ選びなさい。

寒いから窓を閉める。

ア 学校から帰る。

イ みそは大豆からできる。

ウ 友だちから助言をもらう。

エ 十分に予習したから自信がある。

5

次の漢文を返り点にしたがつて読むとき、読み方として適切なものを、あとのア～エから一つ選びなさい。

花^{はなニ} 有^{あり二} 清^{せい} 香^{こう一} 月^{つき二} 有^{ありレ} 陰^{かげ}

ア 清香花に有り陰月に有り

イ 清香有り花に陰有り月に

ウ 花に清香有り月に陰有り

エ 花に香有り清月に陰有り

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(信原幸弘^{のふはらゆきひろ}『覚える』と『わかる』 知の仕組みとその可能性』による)

1 次のア～エのうち、本文中の A、B に入る言葉の組み合わせとして最も適しているものを選択しなさい。

	A	—	B
ア	とはいえ	—	なぜなら
イ	しかし	—	すなわち
ウ	だから	—	ところが
エ	それとも	—	ただし

2 次のア～エのうち、本文中の — 線部①の言葉の意味として最も適しているものを一つ選びなさい。

ア	意識できない
イ	発見できない
ウ	推測できない
エ	納得できない なっとく

3 次のア～エのうち、本文中の の段落の役割として最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア の前の段落内容に関して、仮定の矛盾を明らかにし、前の段落までの論の問題点を際立たせている。
きわだ
- イ の前の段落内容を受けて、新たな疑問を投げかけ、次の段落以降で述べる事柄をあらかじめ示している。
- ウ の前の段落内容をふまえて、筆者の体験を補足し、前もって次の段落以降に続く論の根拠を述べている。
- エ の前の段落内容を振り返り、前の段落の冒頭で示した疑問点を問い直し、本文全体の要点をまとめている。
ぼうとう

4 本文中で述べられている「直観」と「知覚」の「よく似た点」と「違う点」についてまとめた次の【表】中の

あ に入る内容を、本文中から二十二字で探し、初めの五字をぬき出しなさい。

【表】

知覚		直観		
		あ	点。	
物事の具体的な内容が意識に現れる点。		物事の抽象的な内容しか意識に現れない点。 ちゆうしやうてき		
		よく似た点		違う点

5

次のア～エのうち、本文の内容に合うものとして最も適しているものを一つ選びなさい。

ア 問題の答えが閃く^{ひらめく}などして、「あつ、わかった!」と叫びたくなるようなときの「わかる」はたいてい直観的な理解であり、このような直観も私たちの物事の理解にとって重要である。

イ 証明問題を解くということは、複数の従うべき規則のうち、どの規則をどの順に適用するかを発見することだと言えるので、どの規則をどの順に適用するかがわかれば証明が本当にわかったと言える。

ウ 知覚においては、外部から受けた刺激が脳の関係する領域へと送られて情報処理がなされており、情報が処理されて知覚が形成される過程が段階をおって意識にのぼっていく。

エ 証明を直観的に把握^{はあく}するとは、証明を構成する式、または命題の系列を具体的に意識に思い浮かべ、証明をよく暗記し、証明の核心を一举に捉えることである。

三

花本さんの学級では、地域の中で自分が興味をもったことについて一人ひとりがレポートを作成することになりました。次は、花本さんがマンホールの蓋^{ふた}について書いた【レポートの下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【レポートの下書き】

デザインマンホールの可能性 ～地域での取り組み～

梅原中学校 3年3組 花本かおる

1 はじめに

最近、道で【資料1】のマンホールの蓋をみつけた。マンホールとは下水道の点検をする人などが出入りするための穴のことで、マンホールの開口部は、鉄の蓋で閉じられている。【資料1】の蓋は、梅原市独自のキャラクターである「梅ねっこ」を用いたデザインが施^{ほどこ}されており、「梅ねっこマンホール」とよばれている。

【資料1】



このような特徴^{とくちょう}的なデザインが施されたマンホールの蓋はデザインマンホールとよばれ、日本全国に多くの種類がある。そこで、デザインマンホールの歴史や、デザインの傾向^{けいこう}などについて調べることにした。

2 あ

- ・地域の図書館の本などで調べる。
- ・インターネットで検索^{けんさく}して調べる。
- ・梅原市の市役所の職員にインタビューをする。

3 調査結果

(1) デザインマンホールについて

デザインマンホールの歴史を調べてみると、下水道に関心をもってもらうことを目的に1977年に那覇市^{なは}で魚が描かれたデザインマンホールが作られたのが始まりだそうだ。【ア】1980年代以降は他の多くの地域でもデザインマンホールが作られるようになったとのことだ。【イ】そして、2024年の時点で日本のデザインマンホールの種類は約12000種に達したといわれている。【ウ】また、デザインマンホールのデザインには、地域の人が大切にしているものが用いられる傾向がある。例えば、富士市なら富士山、大阪市なら大阪城、岡山市なら桃太郎^{ももたろう}などと、地域の名所、歴史、文化、キャラクターなどが描かれ、道行く人の関心をひいている。【エ】デザイン性だけでなく、マンホールの蓋に求められる安全性^{はうりょく}にも配慮がなされており、人や車が蓋の上で滑らないように、図柄に線や点、図形が多く用いられる傾向がある。

(2) マンホールカードについて

① 作成・配布の目的

近年、各地域のデザインマンホールについての情報が記載された

マンホールカードというものが作られている。マンホールカードは、下水道への関心を高めるとともに、人々にその地域の特色に興味をもってもらうことなどを目的として、日本各地の観光案内所や役所、駅などで、1人1枚に限り、希望者に配られている。

A マンホールカードに載せられているのは、デザインマン
ホールの写真とデザインについての情報などが掲載されて
いる。例えば、【資料2】は大阪府のもので、デザインマン
ホールの写真が載せられていて、デザインに使われている
大阪府のキャラクター「もずやん」の情報や大阪府の下水
道事業の歩みなどが記されている。

【資料2】



(大阪府の資料による)

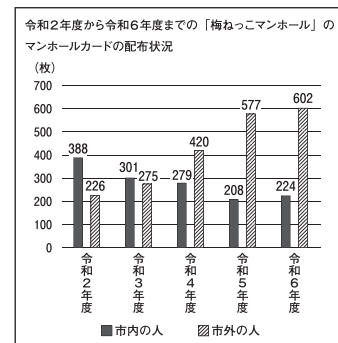
② 梅原市の取り組み

梅原市でも、より多くの人に市を訪れ^{おとず}てもらい地域を活性化することを目的に、「梅ねっこマンホール」のマンホールカードが作られており、「梅ねっこマンホール」の位置情報や市立博物館の情報などが載せられている。マンホールカードの配布時にアンケートが実施^{じっし}されていて、受け取る人が市内の人か市外の人かを問う項目^{こうもく}などが設けられ、その集計結果は梅原市の Web ページで公表されている。

【資料3】は、その集計結果のうち、令和2年度から令和6年度までの「梅ねっこマンホール」のマンホールカードの配布状況を、市内の人と市外の人とに分けて年度別に示したものだ。各年度において市内と市外のどちらの人への配布枚数が多いかに注目すると、令和3年度までは市内の人への配布枚数のほうが多くなっているが、

い

【資料3】



ので、この年度で逆転していることがわかる。市外の人への配布枚数は年々増えてきており、令和5年度および令和6年度では市内の人への配布枚数の2倍以上になっている。また、市役所の職員の方によると、受け取ったマンホールカードの情報をもとに、実際に「梅ねっこマンホール」を見に行ったり、市立博物館を訪れたりする市外の人が増えているとのことだった。これらのことから、「梅ねっこマンホール」のマンホールカードは地域の活性化に役立っていると考えられる。

6 参考資料

- (1) 『マンホールカードコレクション』(〇〇著 〇〇出版 〇年〇月〇日)
- (2) 下水道広報プラットフォームの Web ページ(〇年〇月〇日) URL <https://www.〇〇〇.jp>
:

(下水道広報プラットフォームの Web ページなどにより作成)

1 次のア～エのうち、【レポートの下書き】中の「1 はじめに」の内容について説明したものとして最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 今回のレポートを作成するに際して、結論と結論を支える明確な根拠とを述べている。
- イ 今回のレポートの題材に関する説明と題材としてとりあげたきっかけについて述べている。
- ウ 今回のレポートを作成するにあたって、自分が経験した苦労や失敗について述べている。
- エ 今回のレポートの題材をとりあげる上での課題と課題に対する仮説とを述べている。

2 次のア～エのうち、【レポートの下書き】中の あ に入る言葉として最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 調査時期
- イ 調査項目 こうもく
- ウ 調査方法
- エ 調査目的

3 花本さんは、【レポートの下書き】中の「3 (1) デザインマンホールについて」と見出しを付けた文章に対して、友人の西村さんからアドバイスを受けています。次の【西村さんと花本さんのやりとり】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【西村さんと花本さんのやりとり】

【レポートの下書き】中の、「3 (1) デザインマンホールについて」と見出しを付けた文章は、内容のまとまりから考えると、二つに分けた方がよいと思うよ。



西村さん

そうだね。じゃあ、Iの部分から段落をかえて、二つに分けることにするね。二つのうち前半のまとまりの見出しは「3 (1) デザインマンホールの歴史」にして、後半のまとまりの見出しは「3 (1) II」にしてみるよ。

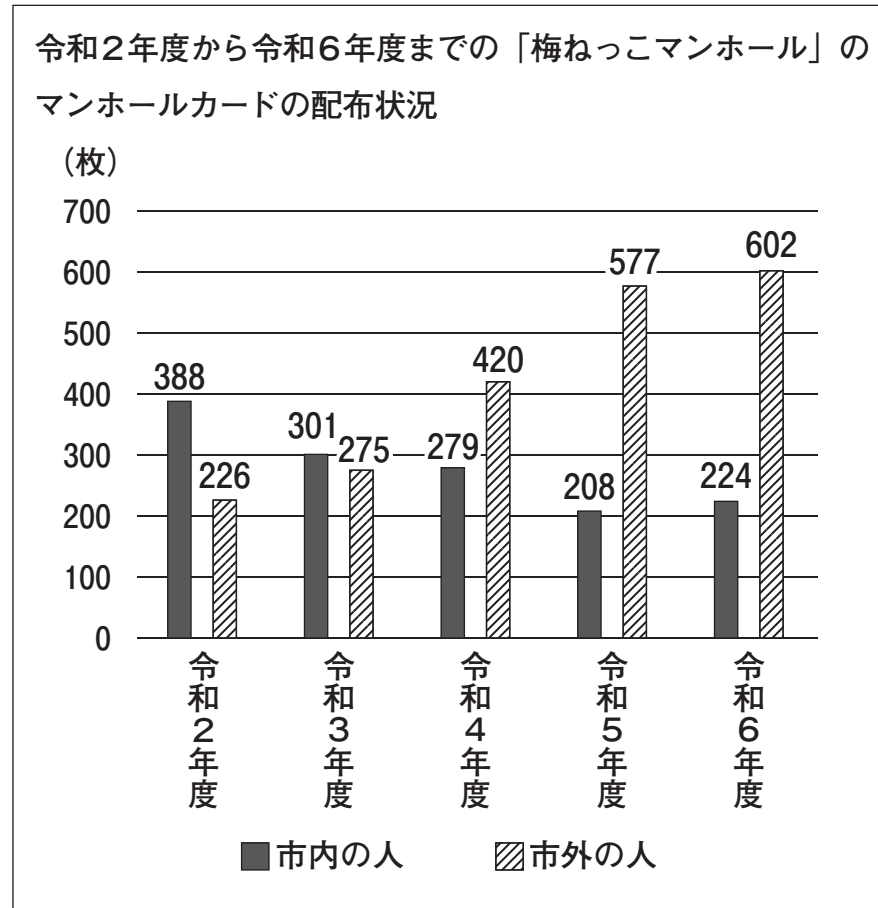


花本さん

問い 【西村さんと花本さんのやりとり】中のIに入る記号として最も適しているものを【レポートの下書き】中の[ア]～[エ]から一つ選びなさい。その上で、IIに入る適切な言葉を、【レポートの下書き】中から七字でぬき出しなさい。

4 花本さんは【レポートの下書き】中の――線部Aを読み返しているときに、「マンホールカードに載せられているのは」と「掲載されている」との言葉のつながりが適切でないことに気づきました。この文の内容を変えないように、「マンホールカードに載せられているのは」の部分を適切な形に書き直さない。

【資料3】

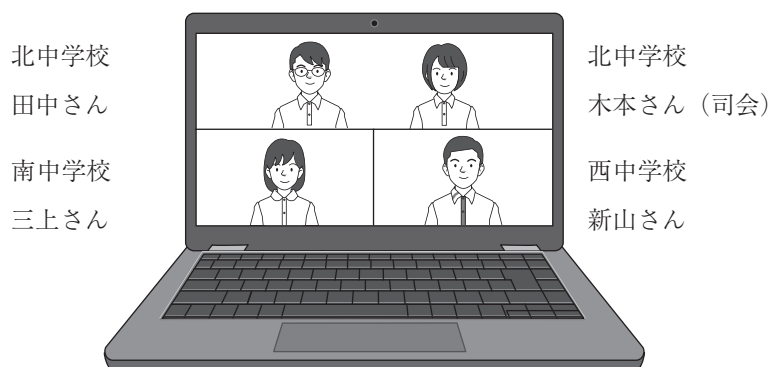


5 【レポートの下書き】 中の い

に入る内容を、前後の文脈に合わせて二十字以上、四十字以内で書きなさい。なお、次の【資料3】は【レポートの下書き】中の【資料3】を拡大したものです。

い

【オンライン会議の様子】



【四】 青川市の三つの中学校の生徒会の代表が参加し、異学年で交流する活動についてオンライン会議を行っています。会議の司会は、北中学校の木本さんです。次は、【オンライン会議の様子】、事前に各校の代表に配られた【資料】、会議の流れにしたがって行われた【各校の取り組みの報告】と【質疑応答の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料】

青川市中学校代表者会議 資料

- 日時 9月10日（水）16：00～16：40
- 参加者 北中学校：木本（司会）、田中
南中学校：三上
西中学校：新山
- 目的 異学年で交流する活動についての情報交換
- 会議の流れ
 - (1) 会議の目的の^{かくにん}確認
 - (2) 各校の取り組みの報告
 - (3) 質疑応答
 - (4) まとめ
- 各校の取り組み

北中学校	合唱コンクールに向けて、3学年合同グループでの練習を取り入れている。
南中学校	体育大会の全校生徒による団体演技「青川踊り」で、3年生が中心となって練習を行っている。
西中学校	縦割り班を編成し、その班で年間を通してさまざまな学校行事に取り組んでいる。

【各校の取り組みの報告】

本校は、毎年10月に全クラス対抗の合唱コンクールを行っています。課題曲の練習では、合計3回の3学年合同グループでの練習を取り入れています。各学年の1組、各学年の2組、各学年の3組の3つのグループをつくり、グループの中で合唱を聴き合ったり、感想を述べ合ったりします。1年生からはハーモニーのつくり方に関する質問などが出ており、それに対して2・3年生がアドバイスをしています。

北中学校
田中さん



南中学校
三上さん



本校は、毎年体育大会の団体演技として生徒全員で「青川踊り」を踊っています。体育大会の練習時間のうち、週2回ほどが団体演技の全体練習の時間になっています。全体練習は、3年生が中心となって進めていきます。練習中は、3年生が手本を見せたり、声かけを行ったりして、1・2年生をサポートしながら取り組んでいます。

本校では、一つの班の人数が10人程度、各学年3～4人ずつの生徒で編成された班を縦割り班とよび、年間を通してその縦割り班でさまざまな学校行事に取り組めます。例えば、5月に全校一斉行事として行う地域清掃活動では、校区内の海岸を縦割り班ごとに区域を分けて清掃します。縦割り班で取り組む行事では、3年生がリーダーとなって活動を行っています。

西中学校
新山さん



【質疑応答の一部】

それでは質疑応答に入ります。会議を円滑に進めるために、私から質問する人を順番に指名していくので、指名された人は、質問したい相手の名前を言ってから、質問内容を簡潔に述べてください。では、南中学校の三上さんからお願いします。



北中学校
木本さん
(司会)



南中学校
三上さん

はい。北中学校の田中さんに質問があります。①報告の中で各クラスの合唱を聴いて感想を述べ合ったり上級生がアドバイスをしたりするということをあげられていましたが、その取り組みによってどのような変化があったのでしょうか。



北中学校
田中さん

1・2年生は3年生の歌を聴いて、自分たちも3年生のように自信をもって楽しく歌えるようになりたいと思ったそうです。また、3年生は上級生としての意識の変化があったようです。



南中学校
三上さん

田中さんにもう少し具体的に聞きたいです。3年生の意識の変化とはどのような変化だったのか、教えてもらえますか。



北中学校
田中さん

はい。本校では合唱コンクールの後にアンケートを行っています。アンケートの結果がこれです。見てください。この「他の学年と行動することで、責任感が増しましたか。」という質問項目こうもくにおいて、2024年度の3年生の回答とその学年が1年生のときの回答とを比べると、「とてもそう思う」と回答した生徒の割合が、

あ

ことがわかりました。学年が上がるにつれて、異学年との関わりの中で上級生としての自覚が生まれ、責任感が増したと感じる人が増えているのだと考えています。

田中さんありがとうございます。②北中学校では、異学年との関わりの中で責任感が増すという意識の変化が3年生にみられたということですね。三上さん、よろしいですか。続いて、西中学校の新山さん、どうぞ。



北中学校
木本さん
(司会)



西中学校
新山さん

三上さんに質問です。報告の中で3年生が中心となって全体練習を進めていくということをあげられていましたが、異学年で活発な交流を行うために工夫していることがあれば、教えてください。



南中学校
三上さん

はい。本校が心がけているのは、下級生が取り組みやすいように上級生から働きかけるということです。体育大会の「青川踊り」の全体練習のときには、不安や疑問がないかを3年生から1・2年生にたずね、不安や疑問があれば、それらを一緒に解消できるように取り組んでいます。そうすることで、徐々に1・2年生から3年生に話しかけていく様子がみられるようになりました。異学年での交流が促進され、全体の演技の向上にもつながっています。



西中学校
新山さん

なるほど。今の話を聞いて、本校でも3年生から1・2年生に働きかけるような工夫をしてみようと思いました。

三上さん、ありがとうございます。南中学校は、下級生が取り組みやすいように上級生から働きかけることが大切だと考えているのですね。西中学校も、取り組みのヒントになる回答がもらえたようで良かったですね。では、田中さん、質問をお願いします。



北中学校
木本さん
(司会)



北中学校
田中さん

新山さんに聞きたいことがあります。西中学校では年間を通して縦割り班で活動を行っているということですが、縦割り班はいつ決めるのですか。また、5月に地域清掃活動を行うということですが、い。具体的に教えてください。



西中学校
新山さん

まず、4月に全校集会を行い、縦割り班を決めます。その後、5月に行う地域清掃活動の他に、9月の防災学習、11月の地域の高齢者の方々との交流会、2月の校区小学校6年生との交流会などに取り組んでいます。

(以下、質疑応答は続く)

1 次のア～エのうち、【各校の取り組みの報告】について、三人の報告の共通点を説明したものとして最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 取り組みの工夫^{くふう}を述べた後で、今後の活動について説明している。
- イ 取り組みの成果を述べた後で、反省点をもとに振り返っている。
- ウ 活動内容を大まかに述べた上で、具体的な内容や事例を付け加えている。
- エ 活動内容を簡潔に述べた上で、苦労した点や課題について補足している。

2 次のア～エのうち、【質疑応答の一部】中の――線部①について説明したものとして最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 他校の報告の中で示された疑問を言い換え、取り組みの工夫について質問している。
- イ 他校の報告の中で述べられた目的を確認^{かくにん}し、取り組みのきっかけについて質問している。
- ウ 他校の報告の中の課題となる点を指摘し、取り組みの意図について質問している。
- エ 他校の報告の中の気になる点を明示し、取り組みの効果について質問している。

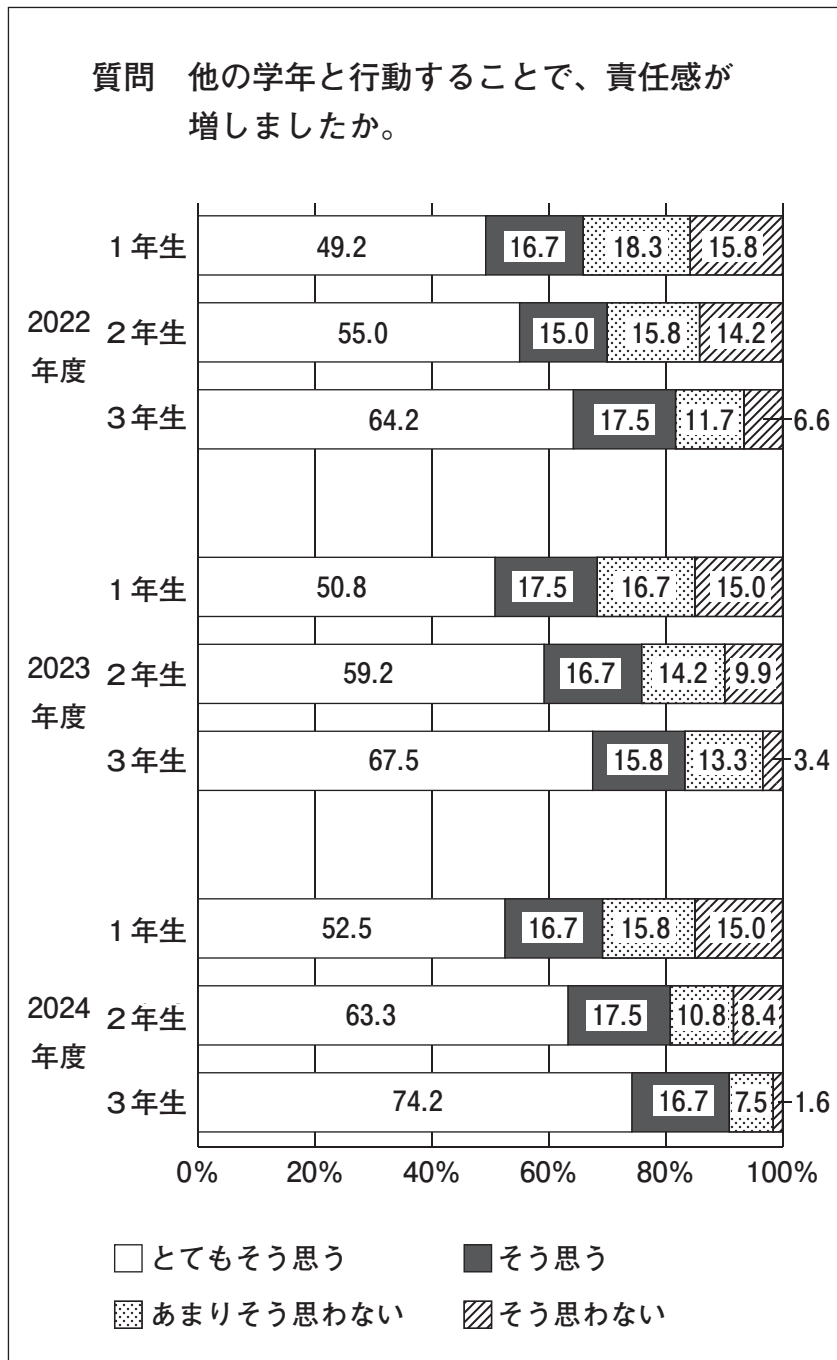
問題は、次のページに続きます。

3

田中さんは、次の【アンケートの結果】を見せながら話しています。【質疑応答の一部】中の あ に入る

数字や記号を使う場合はあとの〔例〕にしたがって書くこと。

【アンケートの結果】



〔例〕

2025
年
度

12.3
%

4 次のア～エのうち、【質疑応答の一部】中の——線部②の言葉が果たしている役割として最も適しているものをつ選びなさい。

- ア 会議の目的に戻るよう^{うなが}に促す役割
- イ 参加者の発言の内容を整理して伝える役割
- ウ 参加者の発言の不足を指摘する役割
- エ 質疑応答の進行の仕方を明示する役割

5 次のア～エのうち、【質疑応答の一部】中の い に入る内容として最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 他にどのような活動を行っているのですか
- イ 地域清掃は何回くらい行っているのですか
- ウ 縦割り班以外で活動することはありますか
- エ 課題として取り組んでいることはありますか

6 北中学校の田中さんは、オンライン会議の内容を、後日、生徒会役員会で報告します。あなたが田中さんならどのように話しますか。次の【報告の一部】中の **A**、**B** に入る内容について、あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

【報告の一部】

オンライン会議での情報交換で、南中学校では **A** という工夫くふうをしていることがわかり、興味深かったです。

また、西中学校の報告を聞いて、本校でも取り入れてはどうかと考えたのは、**B** ということです。本校でも三学年合同グループの活動は行っていますが、西中学校のような活動を取り入れることで異学年交流じゅうじゅうがより充実じゅうじゅうしていくのではないかと考えました。



北中学校
田中さん

(1) **A** に入る適切な内容を、【質疑応答の一部】中から二十四字で探し、初めの四字をぬき出しなさい。

(2) **B** に入る適切な内容を、【各校の取り組みの報告】および【質疑応答の一部】の内容をふまえて、前後の文脈に合わせて十五字以上、三十五字以内で書きなさい。

五

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(『古本説話集』による)

1 本文中の~~~~線部を現代かなづかいに直して、すべてひらがなで書きなさい。

2 次のア～エのうち、本文中の——線部①の人物が道^{みちなり}済からみてどのような関係にあたるのかを示したものとして最も適しているものを一つ選びなさい。

ア	イ	ウ	エ
祖父	孫	叔父 ^{おじ}	甥 ^{おい}

3 本文中の――線部②がさし示す人物について、二人の人物の名前を本文中からそれぞれぬき出しなさい。

4 次のア～エのうち、本文中の――線部③を現代語に直したとき、その意味として最も適しているものを一つ選びなさい。

ア 二人の友としてのつきあいは

イ 二人がそろって狩りに行くのは

ウ 二人がいつしよに来ても

エ 二人の詠んだ歌はどちらも

5 次は、本文の内容について、山田さんと皆川さんが交^かわした【会話の一部】です。これを読んで、あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

【会話の一部】

山田さん この文章は、歌人たちが自分の歌のほうがすぐれていると主張しあっていることについて書かれているね。

皆川さん 鷹狩^{たかが}りをテーマにした歌を詠^よんでいるね。①の歌では、同じ発音で意味が異なる言葉が使われているよね。「みの」に、場所を表す「御野^{みの}」と、雨具の「蓑^{みの}」の二つの意味を持たせているし、「かり衣^{えも}」の「かり」にも、獲物^{えもの}を捕らえる「あ」と、雨具を「い」りる」の二つの意味を持たせるなどしているんだ。

山田さん 確かに工夫^{くふう}されているね。私は②の歌も、情景が思い浮かぶのでよいと感じたよ。

皆川さん そうだね。二人はどちらの歌がすぐれているかをはっきりさせるために、有名な歌人である四条大納言^{しじうだい}に判定してもらったということだね。

山田さん 四条大納言は、うと判定したんだね。

皆川さん 判定を受けた後のそれぞれの気持ちは、行動の違いに出ている気がするよ。

山田さん そうだね。判定を受けて、えことから、自分が作った歌を認められるのはとてもうれしいことだったとわかるね。当時の貴族にとって歌がどういうものだったのか、もっと調べてみようよ。

(1) 【会話の一部】中の【あ】と【い】に入る適切な漢字をそれぞれ一字で書きなさい。

(2) 【会話の一部】中の【う】、【え】に入る内容として最も適しているものを、【う】は次の【う】の選択肢【のアゝエから、【え】はあとの【え】の選択肢】のオゝクから、それぞれ一つずつ選びなさい。

【う】の選択肢

- ア ①の歌は道理に合った言い方をしているなどと評価して、①の歌のほうがすぐれている
- イ ②の歌は後の時代には和歌集などにも入るだろうなどと評価して、②の歌のほうがすぐれている
- ウ ③の歌は自然そのものを描いていてすばらしいなどと評価して、③の歌のほうがすぐれている
- エ ④の歌はあられという言葉の使い方に品位があるなどと評価して、④の歌のほうがすぐれている

【え】の選択肢

- オ 長能は舞いおどりながら退出し、道済は物思いに沈みながら退出した
- カ 長能は舞いおどりながら退出し、道済は才能がすぐれていることを誇った
- キ 道済は舞いおどりながら退出し、長能は物思いに沈みながら退出した
- ク 道済は舞いおどりながら退出し、長能は才能がすぐれていることを誇った